

木材価格市況標準相場

令和7年7月3日

東京木材問屋協同組合
価格市況調査委員会

○今月の価格動向

- | | |
|-----------|----|
| (1) 値上げ品目 | なし |
| (2) 値下げ品目 | なし |

○今月の市況動向

6月の商況は、5月の新設住宅着工数の大幅減少の影響もあり、荷動きが鈍化する苦しい展開となった。一方で原木や製品価格は高止まりしており、それを販売価格への転嫁が出来ない厳しい状況が続いている。

(国産材) 4月に一時的な回復が見られた荷動きは、6月に入り再び低迷。製材所からは引き続きコスト上昇分の価格転嫁がアナウンスされている。

(輸入材) カナダSPF材については、米国の輸入関税の引き上げが見込まれており、今後の価格上昇要因となる可能性がある。WFP社のコロンビアビスタ製材工場における火災の詳細は現時点では不明だが、直近の7月積みには影響がない様子。広葉樹では、市況は弱い中、ホワイトオークとナラ製品は好調とのこと。

(合板) 国内針葉樹合板生産量は出荷量を上回り、在庫は再び増加傾向にある。メーカーはコスト上昇を背景に値上げを試みているが、需要低迷の影響で市場は様子見姿勢。輸入合板も5月よりも荷動きが悪化し、塗装型枠・構造用などで欠品も見られるが、需要の弱さから価格は横ばいにて推移している。